

2013年10月発行

第7号

平成25年度

第1回 淀川河川公園 地域協議会 会議録

中流右岸域版 (高槻市・摂津市域) 平成25年8月28日開催分

■開催概要

開催日時:平成25年8月28日(水) 13:00~16:30

場 所:高槻市三箇牧公民館

議事次第

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. これまでの経緯
4. 議 事
三島江野草地区の今後の整備・管理運営のあり方について

(現地見学会)

三島江野草地区

5. 今後の予定
6. 閉 会

配布資料(一覧)

■説明資料

- ・資料-1 淀川河川公園基本計画の整備・管理運営方針
に対する中流右岸域の状況
- ・資料-2 三島江野草地区の概要
- ・資料-3 高水敷切り下げ区域の管理方針
- ・資料-4 三島江野草地区切り下げ区域とその周辺の現状
と課題
- ・資料-5 市民参加による植生管理活動等の実施状況

■審議資料

- ・資料-6 審議項目

■参考資料

- ・参考資料1 三島江野草・三島江地区地区会議の概要
- ・参考資料2 平成24年度中流右岸域地域協議会会議録

【主なご意見】

[学識者委員]

- ・川に任せるというのは、人の手を入れないということだが、現実には人の手を介さないと、淀川にふさわしい植生の出現ができない。
- ・放っておけば、外来植生がふえてしまい、本来見られる多様な河川植生が見られなくなっているのが現状である。
- ・公園としてみんなに利用してもらい、そのためには地域の皆さんと一緒に新しく公園をつくるという協力なくしてはできない。

[利用者代表]

- ・現在は、学生が百二、三十人ぐらい、野鳥愛好会の人たちが10名弱。三島江地区のワンドで魚釣りをしている人たち15名弱にだいたい常時参加していただき、三島江切り下げ地区の草刈りや清掃などを住民参加で活動している。
- ・地元自治会にも話をさせていただいているが、趣旨がうまく伝わらないのか、なかなか参加には至っていない。
- ・唐崎のワンド、三島江野草地区の切り下げ地区、三島江地区のワンド、これらを一体的に考えていったらどうか。

[学識者委員]

- ・公園の公物の管理と住民参加におけるマネジメントを、どのように切り分けるかということも、ぜひやらなければならない。



[学識者委員]

- ・切り下げ地区は自然環境の保全・再生ゾーンというほどのものではなく、再生というよりも創生に近い。そういったところをつくり上げていくときに、余り制限して、まだうまいことしていないところまでやるのは早過ぎる感じがする。その辺もこれから考えていただきたい。

[学識者委員]

- ・国レベルや関西広域連合がこれから環境学習というのをどんどん言い出すはずで、まず幼稚園、保育所、小学校レベルから始めることになる。

[利用者代表]

- ・三島江の切り下げ地区は、もう一回人間がある程度強い力を加えてやらないと、住民参加では対応ができないような状態である。
- ・ヤナギの幹がペットボトルよりも太い状態まで育ち、これをどうするか検討しなければならない。

[学識者委員]

- ・切り下げ地区をどう利用するのかという議論をしたほうが早い。ヤナギをどうしたらいいのかという話に入ったほうが結論が見えやすい。

[学識者委員]

- ・年に3回もいろいろな方に来ていただいて草を刈ってもやはり限度がある。私は行政をブッシュするための住民参加だと思う。ぜひ行政も聞いていただき、より河川らしいところに進めていただきたい。
- ・地元の方の参加が少ないということだが、現在はほとんど利用されていないので、こういう形なら使えるのといった希望を出していただき、一緒に公園をつくっていくのが、これからの公園づくりだと思う。

[学識者委員]

- ・住民に参加してもらおうと思ったら、資材を入れる倉庫、休める場所、トイレがなかったら、ボランティアの拠点はつくりにくい。私が知っている住民参加型でうまくいっているのは、ハードとソフトが込みになっている例がほとんどである。

[行政]

- ・高槻市でも自然環境の回復を芥川の津之江地区でやっている。活動のアピールが重要。教育委員会などとの連携でやる必要がある。

[学識者委員]

- ・今まで小、中、幼稚園で議論していたら、学校から現場に行く足がないので動きにくいということもある。ある県では補助金を出している。
- ・企業参加も最近増えてきている。高槻でも家電メーカーのOB会が頑張っている。企業市民としての参加もよいと思う。

[事務局]

- ・これまで学校や自治体など地域の方へのアピールは弱かった。学校関係は今後当たってみたい。また、地元の方にも、どのように淀川と関わってきていて、関わらなくなってきたのかをいろいろ聞いてみたい。地域住民代表委員や、自治体委員から知り合いの方などを教えていただきたい。

[地域住民代表]

- ・現在、住民は全く淀川には興味を示していないというのが実情。
- ・淀川に目を向けてほしいというが、今の段階では納得してもらえる材料が、はっきり言ってないと思う。小学校4年生ぐらいで淀川に行っても観察するところがないから教材としても魅力がない。だから学校の中にビオトープをつくって観察している。
- ・大塚地域で今年の夏の暑いときに、竹ざおに紐をつけ、針に生きたドジョウをつけ、さおの先に鈴をつけてみた。獲物が食いついて鈴の音がしたらすぐ上げると、ウナギ、フナ、コイ、スッポンが掛かっていた。それぐらい淀川の環境はよくなってきている。
- ・調査して、こうなりましたと言うのではなく、この地域にはこういう生き物もいるから、一度皆で観察しましょうかといった呼び掛けがもっと必要ではないか。

[学識者委員]

- ・高度成長の後、堤防が頑丈になって川から周辺住民は切り離された。これからは環境学習を学校でぜひやらなければならない。環境学習の教材づくりを淀川でやったら、淀川の涼しいところのできるのでもいいアイデアだと思う。
- ・植生を回復し、ため池の回復をするとき、植物だけではなく生き物がどうなのか。
- ・地域ごとにリーダーシップをとれる若い人を育成していく、そういった活動と環境学習が連携してきたら結構おもしろい。
- ・住民で淀川に一番入っている人は水防団である。活動団体等の中に水防団の方々も入れておいたらいいのではないか。

[行政]

- ・高槻市の芥川の近辺にウォーキング道をつくれれば人が集まって賑わっていくことで川にも関心が出てきて、川について知ってもらい、そういった機会になるのではないか。

[利用者代表]

- ・三島江切り下げ地区を今後こういうふうにするといった議論もこの協議会の中でしていただければと思う。

[学識者委員]

- ・河川公園として、自然に親しむ教育プログラムとか観察会のプログラムとかあるのでしょうか。

[利用者代表]

- ・河川レンジャーは各自それぞれに環境学習プログラムを持っていると思う。
- ・切り下げ地区の草刈りも、年3回では利用者呼び込める状態に保つのは難しい。樹林帯をどうするのかということも、これからの

課題である。

(現地見学)

[利用者代表]

・草刈りも年3回ではちょっと無理かな、なかなか利用者呼び込むような状態に保つというのは難しいのかなというようなことをひとつ感想として思いました。

[行政]

・わかりやすいようなPRをしていただいたら、また市民、府民がもうちょっと現場に来て見てもらえる形もできるのかなというふうに思いました。

[行政]

・子供さんたちも行けるような形で整備していただけたらなと思っています。

[行政]

・もっとオープンに、もっと入りやすく整備していただけたら、と思いました。

[行政]

・草があることによって人が寄りつかない。どうやって水面を見せられる状態に持っていける状況が常に保てるか。

[地域住民代表]

・根から切っても、また横から根が出てくる。その繰り返しだ。

・一旦木をきれいに切った上において、碎石でもいいから、大きい碎石を上にならんと並べて、できるだけ鳥が運んできた種がこぼれても、草とか木が生えない状況をまずつくってやることですね。

[学識者委員]

・自然観察の中で、踏み分け道みたいなものでずっと維持していくのがいいのか、あるいはもう少し碎石を入れた、あの上のほうは歩けるようになっているんですね、遊歩道は。そういうのをもう少し池の近くまでつくっておいたほうがいいのか。

[利用者代表]

・園路から中に入るときに、Tの字になっているんですね。あの構造が、草が生えにくいような構造ですね。アスファルト舗装ではないですけれども、そういう構造にすれば、維持管理も少し楽になるのではないかな。草の生えにくい園路というんですか、余りかたくなような構造でやったらどうか。

[行政]

・子供たちが淀川の川岸まで行ける。そういう水にも接する環境ができるし、そういう水たまり、水辺ができればよい。

[行政]

・地元なり、かかわれる方がどれだけ密にやっていたかということにかかってくる。

・ボランティアさんに、その部分を維持してもらおうのは、やっぱり限界がある。

[学識者委員]

・看板を見たときに、ここでどうやっているのを見て自然観察したらいいのかとか、利用の仕方とか、広報というのも必要だなと感じた。・昨年度に承認した公園整備計画に基づく整備工事が事前に説明なく始まっている。我々への情報が不足しているのではないかな。

[お問い合わせ先]

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号

TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkk.mlit.go.jp

当日配布した資料などは、下記 Web サイトにて、公表しています。詳細は、Web サイトを参照願います。



http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/park_kyoudgi/index.html

2013年10月発行

第7号

平成25年度

第1回 淀川河川公園 地域協議会 会議録

中流右岸域版(高槻市・摂津市域)平成25年8月28日開催分